

題名：横浜労災病院で大型嚢胞性病変を有する転移性脳腫瘍に対してドレナージ術を併用した定位放射線治療を受けた患者さんへ

当院では、下記の臨床研究を当院倫理委員会の審査を経て病院長の許可のもと行っています。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、あなたの診療情報や検査などで残った検体の下記の研究への利用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして研究に利用させていただきます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用するまたは提供されることを希望されない場合、また研究に関する質問等ございましたら、下記に記載している問合せ先へご連絡下さい。利用を希望されないことが今後の診療に何らかの影響を与えることは一切ありません。

研究課題名 (承認番号)	横浜労災病院で大型嚢胞性病変を有する転移性脳腫瘍に対してドレナージ術を併用した定位放射線治療を受けた患者さんへ (-)
当院の研究責任者 (所属)	岩本 敬 (脳神経外科)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	大型嚢胞性病変を有する転移性脳腫瘍に対する確立された治療方法はありませぬ。従来、大型嚢胞病変はその大きさから放射線治療には適さず、手術での摘出が行われてきました。手術は出血や感染、播種などリスクがあり、特に全身状態が良いとは言えない転移性脳腫瘍の患者さんにとっては負担が大きいものです。より低侵襲で負担の少ない治療法として、局所麻酔下での嚢胞ドレナージ術を併用した定位放射線治療を行う方法は近年多く報告されてきています。当施設でも同様の治療を行っており、本研究を通して、大型嚢胞性病変を有する転移性脳腫瘍にする治療成績を明らかにし、その有用性を検討し治療法の一つとして提案をいたします。
研究の方法 (利用する試料・情報)	大型嚢胞性病変を有する転移性脳腫瘍に対してドレナージ術併用下での定位放射線治療を行なった方が対象となります。こあれまでのカルテの診療録や臨床情報、画像検査などデータを収集して行う研究です。新たに患者さんにご負担いただくことはございませぬ 研究実施期間：2024年8月～2024年9月
利用する試料・情報の 該当期間	2022年10月～2024年9月
試料・情報の他の 研究機関への提供 および提供方法	予定してございませぬ

個人情報の取り扱い	利用する試料・情報から、氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除いたします。研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は一切利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：045-474-8111(代表) メールアドレス：kenkyu@yokohamah.johas.go.jp 担当者：岩本 敬（所属：脳神経外科） ※研究責任者が個別に連絡を受ける場合は赤字を修正してください。
備考	

赤字は提出時に削除してください。